

- 1 食の安全にこだわります。
- 2 健康な食べ方を大切にします。
- 3 国内自給力アップをめざします。
- 4 遺伝子組み換え作物を認めません。
- 5 有害物質ゼロをめざします。
- 6 自然資源を大切に使います。
- 7 ごみの削減に取り組みます。
- 8 原発のない社会をめざします。
- 9 おたがいにたすけあう社会をめざします。
- 10 自分たちで決めて、自分たちで実行します。



生活クラブは、子どもたちがこの先もずっと安心して暮らしていける社会を作ること  
めざして、自然と共生し、食べ物(Food)、エネルギー(Energy)、福祉(Care)をできる限り  
自給・循環させる「サステイナブル(持続可能)な」社会作りに取り組んでいます。  
今年度は、生活クラブの「つながるローカルSDGs」についてお伝えしていきます。

## 「サステイナブルなひと、生活クラブ」 への共感をさらに広げていくために…

生活クラブが「サステイナブルなひと、生活クラブ」というス  
ローガンを打ち出したのが2015年。持続可能な開発目標SDGs  
(Sustainable Development Goals)が国連で採択された年のこ  
とでした。現在では、企業でもSDGsへの取り組みが活性化し、  
社会全体にも浸透してきています。

また、コロナ禍を経て、大量生産・大量消費する社会や生活  
のありようや、広がる経済格差に問題意識を持ち、何らかの形  
で行動したいと願う人が増えています。中でも、ミレニアル世  
代(26～40歳)・Z世代(～25歳)は、環境や社会問題に対する意  
識が高い傾向があります。

そこで、2022年度から生活クラブではこれまでに実践して  
きている活動と新たにスタートする活動を、「つくる、つかう、  
食べる、手渡す。“つながるローカルSDGs”」として発信し、若  
い世代にも伝え、共感を広げていこうとしています。私たち生活  
クラブ生協都市生活でも、さまざまな活動を展開していきます。



## 「つながるローカルSDGs」って何？

「ローカルSDGs」とは、国の第五次環境基本計画(2018年4月  
閣議決定)で提唱された地域づくりの考え方です。地域循環共  
生圏とも呼ばれ、『各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大  
限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に  
応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に  
発揮されることを目指す考え方』であり、地域レベルで持続可能  
な社会=循環共生型の社会を構築していこうという構想です。

この「ローカルSDGs」の概念に加え、生活クラブの各地域が  
自立し、ゆるやかにつながりながら、社会全体をよりサステイ  
ナブルにしていこうということを「つながるローカルSDGs」と  
しています。

## 「つながるローカルSDGs」の ステートメント(宣言)

これからの生活クラブの向かう方向性をわかりやすく伝える  
ためのステートメントを作り、2022年度より発信していま  
す。ポスターや生活クラブ連合会WEBサイト、動画広告や新聞  
広告などで、組合員以外の方にも情報を届けるよう取り組ん  
でいます。

動画はQRコードから視聴可能で  
すので、ぜひご覧ください。



2Pに続く



公式ウェブサイト

機関紙「都市生活」カラー版既発行分はこちらで。



Facebook ページ



Instagram

つくる、つかう、食べる、手渡す。  
**“つながるローカルSDGs”**

たとえ、ひとりの手は小さくても。  
 想いを分かちあう仲間がいれば、何かが生まれる、何かが動く。

安心できる食の国内生産を持続可能なものに。  
 再生可能エネルギーをもっと身近なものに。  
 誰ひとり取り残さない社会を実現するために。

意志ある生産者と消費者が手を組み、  
 循環と共生の輪を広げていく。地域や世代をこえ、  
 未来のいのちへ続いていく。  
 新しい仕組みづくり、私たちと一緒に始めませんか。

**7つの切り口で…**

生活クラブでは、これまで実践してきたこととその循環を下の7つの切り口でポスターや動画を使って発信しています。

次号より、テーマごとに、美味しいから、家族の健康にいいから、環境にもやさしいから…と普段利用している消費材やしくみが地域や国内とどんなふうにつながり、そのことがサステイナブルな社会にどんなふうに関与しているのか、これからどうしていくのか等をお伝えしていきます。サステイナブルな社会を作ることは特別なことではなく、普段の暮らしの中での選択を少し変えることから実現していくものと考えます。

生活クラブは、地域の中で、また他の地域とつながってローカルSDGsをおおぜいの私たちがすすめていきます。ぜひ一緒に、わかって、**考え**、使って、伝えていきましょう。



**丸大豆しょうゆ(濃口)**  
900ml 550円(税込594円)

そんな酵母の力を借りて、市販品では一般的な脱脂加工大豆より2〜3倍の時間をかけ、ゆっくり発酵し、うまみ成分が豊富な醤油になっていきます。大豆の国内自給率が7%という現状の中、もともとは、稲の生長を促すため輪作作物として弥生時代から食べられてきた大豆。(大豆にある根粒菌は、空中窒素を地中に固定することで地力を高める働きがあります。)日本古来の食文化を、次の世代に伝えるためにも、大徳しょうゆを利用して繋いでいきたいものです。 (内田瑞穂)

創立明治43年の大徳醤油は、都市生活と30年以上のお付き合いのある兵庫県養父市にある生産者です。杉蔵の壁に住み着く「蔵付き酵母」に醸造を委ね、1年〜2年ゆっくり時間をかけて熟成させる天然醸造の製法で作っています。春になると、冬場に活動休止していた酵母たちが起きて、パチパチパチと動き出す音が分かるそうです。消費材名にもある国産「丸大豆」は、



# 生活クラブのたまごはオリジナル



生活クラブのたまごは、たまごを産む親鶏の品種や、その鶏の育て方もオリジナル。何よりもたまごを産む親鶏の健康を考えて育て、産まれたたまごを無駄なく使いきることを大切にしています。

## 純国産鶏種の「さくら」と「もみじ」から産まれます。

日本の気候・風土にあうように育種・品種改良された希少な純国産鶏種です。純国産鶏種は国内全体で約5%しかありません。市販のたまごのほとんどは、外国で育種改良されたヒナを輸入し、日本でそのたまごを育てている状況です。

## 健康を第一に育てています。

エサには遺伝子組み換えの混入を防ぐため分別したトウモロコシや大豆かす、国産の飼料用米を配合したものをあたえています。さらに、太陽光と自然の風が入る「開放型鶏舎」で育てているのも、生活クラブのたまごならではの長特です。

親鶏が引越す時も、役目を終えて出ていく時も、鶏舎の徹底した洗浄やきめ細やかな飼育のために、全羽まとまって一斉に行なう方式(オールイン・オールアウト)を採用しています。

こうして産まれたたまごは、生産者から直接生活クラブに届くため、賞味期限だけでなく採卵日まで明らかで、鮮度のよさを確認できます。



<b>純国産鶏種のたまご</b> Fresh Eggs from Domestic Species		<b>[ビジョノフード]</b> 次世代に向けて持続可能な生産に取り組む基礎食材です。
名称/鶏卵	採卵日	23.03.13
原産地/国産(長野県)	賞味期限	23.03.26
内容量/10個		
規格/MSS2g~LL76g		
卵重計量責任者/古田 和敏		
採卵者・選別包装者/農事組合法人 会田共同養鶏組合 長野県松本市会田1566	保存方法: 冷蔵庫(10℃以下)で保存ください。使用方法: 生食の場合は賞味期限内に使用し、賞味期限経過後は充分に加熱調理してください。	

パックに入っている「たまごカード」を見てね!

## 鳥インフルエンザの脅威

今年は鳥インフルエンザが猛威を振るっています。私たち都市生活には、会田共同養鶏組合(長野県松本市)からたまごが届いていますが、埼玉県にある生活クラブの農場では12月に鳥インフルエンザが発生してしまいました。組合員に届けるたまごや、農場で育てる予定だったひなの受け入れも、各地域の関係する農場に助けをいながら、たまご生産の再開にむけて対応しているところだそうです。(理事 片山由香里)

これからも希少な純国産鶏種のたまごを絶やさず、守り、食べ続けていきましょう。



## スパニッシュオムレツ



< 材料 > 2~4人分 (19cmのフライパンの量)

- ・卵 3~4個
- ・ジャガイモ 大2個
- ・玉ねぎ 半個
- ・オリーブオイル 大さじ5
- ・塩、胡椒 少々

< 作り方 >

- ① 具材を切る: ジャガイモはいちょう切り、玉ねぎは粗みじん切りにする。
- ② オイル煮する: フライパンにジャガイモ、玉ねぎ、オリーブオイルを入れ、塩・胡椒して蓋をする。ジャガイモがやわらかくなるまで、弱火で10分ほど煮る。
- ③ 卵を溶く: ボウルに卵を割り入れ、塩・胡椒を加え、溶きほぐす。
- ④ 卵液を作る: ②のフライパンの油を切り、③のボウルに加えて混ぜ合わせる。
- ⑤ 焼く: フライパンに④で油切りしたオリーブオイルを引き、卵液を流し入れてざっくりかき混ぜたら蓋をして、弱火で7分焼く。
- ⑥ 反対も焼く: フライパンにお皿をのせてひっくり返し、フライパンに戻し入れ、さらに弱火で3~5分焼く。

# エシカル消費についての講演会を開催しました！



2月21日、一般社団法人エシカル協会事務次長の堀田三佳さんを講師に、オンライン講演会を開催、34人の参加がありました。

エシカルとは、「人や地球環境、社会、地域におもいやりのある考え方や行動」を意味します。私たちの暮らし・消費生活のあり方が、持続可能な社会に向けてどのようにつながっていくのかを知り、エシカル消費で暮らす人を増やしていきたい、と考えます。

## なぜエシカル消費？

ではなぜいま、エシカル消費が重要なのでしょうか。

深刻な気候変動、生物多様性の減少、海洋プラスチックごみ、食品ロス、児童労働…私たちの消費行動と密接につながっている、様々な課題・問題が山積みで、それによって私たちの日常が脅かされています。「これからの未来、住みよい地球をつなげていくための分岐点は、まさに今。経済と社会の持続可能性は、健全な地球環境によってのみ支えられている。」と堀田さん。

モノの過去=どうやって作られたか背景を知ること、現在=手にしたモノを大切に長く使い続けること、未来=どういう姿になるのか、を考えて消費をすること。私たち一人一人が、社会的な課題に気づき、誰でも簡単に、今日から毎日できる普通の買い物こそ、一番身近なエシカル消費である、と言われていました。

## 3.5%の数字

「人口の3.5%が非暴力な方法で立ち上げれば社会は変わる。」ハーバード大学教授の研究によって出された数字が紹介されました。

今の社会は、何もしなければ現状の問題悪化に加担することになる残念な状況です。我々大人たちが引き起こした課

「エシカルという新しいものさし」  
オンライン講演会  
～持続可能な社会に向けて、私たちにできること～

2023年  
2月21日(火)

講師：一般社団法人エシカル協会 堀田三佳 Hotta Mika

時間：10時～12時  
定員：80名  
参加費：無料

「1人の100歩より100人の1歩が世界を変える」  
未来の子ども達のために、暮らしの中で、その1歩を踏み出すために。

お申込み  
①申込みサイトからお申し込みください  
(下のURLまたは右のQRコードでアクセス)  
<https://nyogo.seikatsudub.coop/event/detail/lecture>  
※講師にご質問がありましたら、申し込み欄に記入ください  
②申込後、Zoom招待メール (@nyogo.seikatsudub.coop) が届きますので、当日参加リンク部分をクリックしてご参加ください  
・申込後、数時間たつても招待メールが届かない場合は、下記までお電話でお問い合わせをお願いします  
・定員になり次第、締め切らせていただきます  
・事前にzoomのアプリをインストールしておくことをおすすめします  
・いただきました個人情報は、当講座の運営管理にのみ利用いたします  
★この講演会は兵庫県の消費者教育支援事業による助成を受けています★  
主催：生活クラブ生活協同組合都市生活  
お問合せ：生活クラブ生活協同組合都市生活 (078) 904-3260  
平日9時から18時まで

募集案内チラシ

題・問題で、子どもたちの未来の選択肢を狭めるわけにはいきません。

変えていきたいよね！と感じたなら、少しずつでも行動し続けることが大きな流れへとつながっていきます。『1人の100歩より100人の1歩が世界を変える力を持っている』というエシカル協会の理念は、私たち生協での日々の共同購入や活動にも通じています。

子どもたちの未来のためにも、暮らしの中で、その1歩を踏み出していきましょう。(理事 西倉由美)

## 100円のたすけあい

問合せ先：組織部(078-904-3260)中田

### ご近所でみつかるかな？

エコ100たすけあい制度を使いたいんだけど、私の周りにたすけてくれる人はいるのかしら？とセンターに問い合わせがあります。お手伝いできますよ、とケア者登録をしている方は486名(2月時点)。加入者の4割弱に当たります。その方々の中から近隣など条件に合う方を探します。

### 1月 エッコロたすけあい制度利用状況

加入者	1,395人	給付申請件数	12件
給付金額	10,300円	事務費	3,700円

エコ100講座開催 2件

先日、新聞・雑誌を纏めてゴミステーションに持って行って欲しい、という高齢の方からのコーディネート依頼がありました。すぐ近くにケア者が見つかり、ケアが行われました。お二人の間ではそれ以後も月に一回定期的にケアが行われています。

(理事 菊田宏子)

## 講演会報告

## 中村順子氏講演会 ～つながりが命を救う～



天災・人災に関わらず非常事態が多い昨今、いざという時のために、わたしたちに何ができるのでしょうか？

2月13日、長年NPO団体等を支援する活動をされている認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸理事長である中村順子氏の講演会を開催し、職員3名を含め27名の参加がありました。



## コミュニティづくりは工夫しだい

いざという時、役に立つのは地域のコミュニティ、でも普段からつながっていないものが、非常時につながることはない。普段のコミュニティの構築は結果として防災力につながる、とコミュニティづくりの実践例をお聞きました。

学生と一緒に高齢者向けオンライン講座を開催したり、自治会館前で寄せ植え鉢を2つ作り一つを気になる人へ届ける活動、スタンプカードを使って子どもも巻き込んだ清掃活動など、コロナ禍であっても考え、工夫次第でコミュニティは形成されていました。



## できることより必要とされること

参加者からは、希望が湧くお話ばかり、具体的な構築法もわかりやすかった、うまく行かず頭を抱えていたがもう一度やる気になった、などの感想が出ました。

「生活全般の解決すべき課題や要求を、仲間や組織で解決する活動や事業が、これからのつながりづくりです。うまく機能するには自分のできること、やりたいことではなく、必要とされていることをすること」と、中村さんは熱く語られました。それは、私たちの活動でも見直していきたいと思ったことばでした。

## 未来を変えるための選択肢

みんなで作る、つかう、つなぐ。



生活クラブでんき  
SEIKATSU CLUB DENKI

「生活クラブでんき」のブランドロゴやコピーが、4月から新しくなりました。新しいブランディングをとおして「生活クラブでんき」の価値をみんなで共有し、認知と共感を広げるためのキャンペーンを実施します。

地球過熱化を抑えるためには、温室効果ガス排出量を大幅に減らさなければなりません。その最も有効な対策は再生可能エネルギーの推進です。政府は原発の再稼働や運転期間延長、次世代革新炉の新増設など原発推進方針を表明しましたが、日本のエネルギー自給率は約12%で、自給できるエネルギーは再エネしかありません。昨今の世界情勢を考えると、安全保障上も食料とエネルギーを自国で確保することが必須の時代になっています。

「生活クラブでんき」は、気候危機や原発問題のない安心安

全な未来を子どもたちに届けたい！と、組合員と生産者が共に作り上げた消費材。エネルギーの原料すべてを自給することをめざし、全国66か所の再エネ発電所から電気をお届けしています。調達電源種別が明らかで、発電所のある地域活性化に貢献できます。

今ならブランドロゴが付いた「SIGGトラベラーボトル」「BAGGUショッピングバッグ」「西海陶器マグカップ」「手拭い」の選べるプレゼントと、2000ポイントを契約者にプレゼントするキャンペーンを実施中。数に限りがありますのでお申込みはお早めに。コンセントの向こう側の電気を「生活クラブでんき」にしませんか？

キャンペーンについて、詳しくは近日配布されるチラシをご覧ください。

# 生協とは

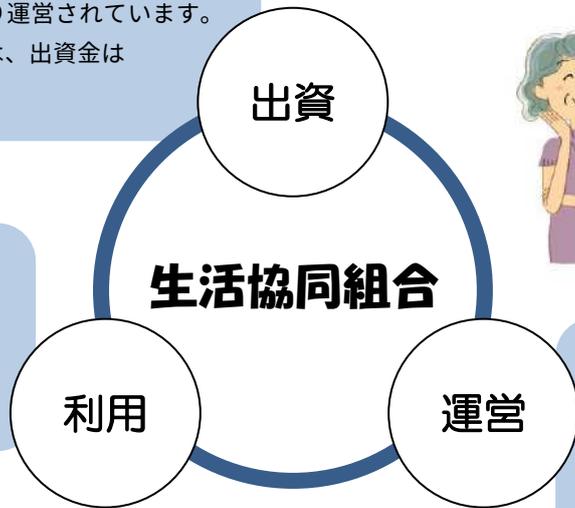
生協は「生活協同組合」といい、一人ひとりがお金(出資金)を出し合い、みんなで利用、運営しながら暮らしを向上させていく生活者の組織です。生協について表すのに使われる「コープ」とは、「協同組合」を意味する英語「co-operative」からとったものです。

## 生活クラブは「生協」です

生活クラブは日本におよそ570ある生協のひとつで、営利を目的としない事業を行っています。組合員の「出資」「利用」「運営」によって成り立っています。

組合員は、自分たちの事業や活動を行うため、お金(出資金)を出し合います。生協の事業はこの出資金により運営されています。なお、生協を脱退される際には、出資金は全額返還されます。

消費材の購入や宅配、共済への加入や福祉などの生協が提供しているさまざまなサービスを利用します。



「こんなものがあつたらいい」など、取り扱う品物やサービス、活動について、組合員がさまざまな意見を出し合い、運営します。

## 「商品」ではなく「消費材」

生活クラブで扱うものは、ほとんどがオリジナルのもの。自分たちの生活に必要なものが何かを考え、自分たちが開発にかかわりながら、生産者といっしょに納得いくものをつくり、みんなで利用しています。売買によって利益を得ることを目的とした「商品」ではないことから、「消費材(しょうひざい)」とよんでいます。

生活クラブの仲間を増やして、この先もずっと安心して暮らせる社会作りを目指していきましょう。

## 今月の組合員

### 生活クラブとの大切な繋がり

山本 美奈子さん 東神戸支部 2022年12月加入

私が生活クラブをはじめたきっかけは、ママ友さんからだしパックを教えていただいて、使ってみると、簡単・おいしい・便利と思ったからです。

モニットになって支部ミーティングに参加させていただき、実際使ってらっしゃる方の感想や消費材の試食があったりして、どんな消費材があるのかが知れたので、安心して利用できるなと思いました。スーパーではなかなか手が出せなかった鶏キモやボイル豚白もつも、臭くなく夫や子どもも喜んで食べてくれています。

まだ加入して間もないですが、いろんなイベントに参加して、いろんな消費材を取り入れていきたいと思っています。



### = 盤洲干潟産青とびおにぎりのり =

3切20枚 (板のり6.66枚分) 369円(税込399円)



私のおすすめは絶対にこれ！ 購入のきっかけは味付けでないおにぎりのりがほしくて探していたところ、一度試してみようと思い注文しました。食べた瞬間、え？何これ？この風味は何？青のり？めっちゃくちゃおいしい～感動～!! 一度でとりになりました。お客様や友人にすすめるとみなさんびっくり!!すぐにファンになります。娘も大好き♡青とびのりを4等分にカットし新生酪農(株)のバターをのせてクルクル巻いて食べます。カタログで見つけた時はまとめ買いします。これがなくなったらほ～んに困ります。絶対に作り続けてほしいです。みなさんも注文して生産者さんが作り続けられるようご協力お願いします。ちなみに、青とびのりとは黒海苔に青のりが混ざっている海苔のことらしいですよ。(西宮支部 河南千尋)

# 徒然都市生活

## 設立の頃の仲間づくりは

生活クラブ生協都市生活は1986年設立。今年で設立37年になります。今年度は設立当初から現在に至るまで、活動してきた仲間に「都市生活の今・昔」を語ってもらいます。

＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋

組合員拡大は今も昔も生協にとって基本中の基本。1986年の生協設立の頃はというと…。

神戸市西区に西神ニュータウンができた(街びらき)のは1982年。新しい街ができる＝新築の家がどんどん建って、次々に入居がすすむ。商業エリアもあるけれど、住民が少ないうちはお店もできてない。まさに理想的な(いまやめったにない)フロントティア。生協職員になる前から「手伝い」にかり出されてた。

毎週、毎週水曜日と土曜日、トラックの荷台に消費材(牛乳、調味料、牛肉、ウインナーとか)を積んで「展示説明会(即売会)」に出向いていた。水曜日(土曜日)には「次の土曜日(水曜日)の〇〇時から、△△公園のこの辺りにトラック停めて即売説明します！」のお知らせチラシを周辺エリアの入居済、入居間近の家にポスティング。その後、「こんにちは！都市生活です〜〜」とマイク放送してから店開き。誰も出てこないのはいつものこと。

専務理事 角田 学さん



↑1989年、名谷センター(旧)で。西神戸支部産直祭、こんな組合員拡大活動も。

←1996年、福岡自然農園で。前列左端が角田さん。30年前の写真を探し出しました。

一軒一軒、ピンポン戸別で「美味しい牛乳、無添加の調味料どうですか?」「買い物不便でしょ、週1配達しますよ!」。兎に角、トラックまで来てもらう。買ってなくてもくれなくても、連絡先を聞き、説明のアポを取り…これは今も変わらないか。当時は班配達のみだから、「あそこのお家と一緒に」とその場で顔合わせ&班結成まで…。ホント、いま思えば、なんとも牧歌的。綿密な行動計画、丁寧なコンタクト(?)の今の拡大課職員には怒られそうな毎日だった。その後も、学園都市、西神南、北区の藤原台、鹿の子台等が開発され、三田ニュータウンでは新支部づくりと連動して目標人数を決めた拠点配達・大型班からコース配達へと移行する方式もやったな。

いずれにせよ、今も昔も、組合員からの紹介・つながりこそが最大の力。「生活クラブ生協って、いいよ。やってみたら!」のひとことにまさるものはない。今年も春の紹介キャンペーン展開中です。

### 理事会報告

2022年度第9回理事会報告 2023.2.27.10:00~16:30 於:中央区文化センター  
出席理事:18名、出席監事:3名 オブザーバー1名\*今回より組織部長陪席  
以下、報告承認事項(4項目省略)・協議決定事項(2項目省略)

1. エコロ審査会報告を受け、1月申請分9件中、9件の給付とエコロ講座開催補助1回分を承認した。
2. 2月度生活クラブ関西運営委員会の会議報告を受け、内容を確認した。
3. 敵基地攻撃能力保有と防衛費増大に反対する消費者団体共同声明への賛同を承認した。
4. TCC経由で呼びかけのあったCODE海外災害援助市民センターの「トルコ南東部・シリア北部地震への支援活動カンパ」取り組みを決定。生活クラブ連合会で取り組む国際赤十字及びユニセフ宛の救援カンパについても取り組む。
5. 第37回通常総代会の開催関連事項として、総代選挙、役員選挙の選挙管理委員の任命、各選挙公示事項について決定。3月1日公示、組合員に公告する。
6. 2022年度末でのみなし脱退処理(対象16名)について公告を承認した。
7. 2023年度の広報方針と企画案内(お知らせ)を新メディアにすることを決定した。併せて、機関紙都市生活4月号企画について協議決定した。
8. 2023年度方針策定について策定会議から検討状況報告を受け、協議した。
9. 多世代の居場所づくりの取り組みに向けた準備の進め方についての提案を協議承認した。
10. 「持続可能な牛乳・乳製品」の利用拡大に向けた取り組み提案を協議決定した。
11. 組織委員会より 2023年度活動企画 開催提案6案件を協議決定した。
12. 第3次中期計画案を検討した。

(会議報告)  
連合理事会、各委員会の報告および各担当理事会の報告を共有した。

(事業報告)  
1月度決算報告を確認した。供給高は計画比118%+3600万円と伸び、供給剰余率が予算より低く、経費はほぼ予算どおりで、経常剰余金は予算を921万円上回った。

1月加入は計画を2名下回り、脱退は、長期未利用者の意志確認に伴う脱退15名を含み96名で、計画より19名少ない。2月度供給集計値では、ほぼ予算計画通りとなっている。

都市生活

Q&A

Q

以前は「意見カード」がありました。最近目にしません。質問がある時、どうしたらよいですか?

A

ちょっと消費材のことを知りたいとか、ちょっと私の意見聞いてほしいということがありますね。でも、企画には参加できない、配達担当職員にも会えなかったなどで伝えられなかったら、まず本部センター、名谷センターどちらでもかまわないのでお電話ください。電話で直接言う程のことでもなければ、メモに書いて注文書と一緒にお届けください。その時にはぜひ、お名前をお書きください。お返事を直接さしあげることができます。

2022年度はコロナ感染の影響がありましたが、2023年度は生産者や組合員どうしが会える機会が増えます。おたがい顔をあわせて、質問や意見が交わるといいですね。



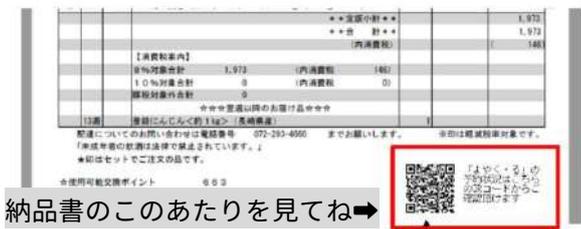
# 「よやく・る」がパワーアップしてさらに使いやすく



「よやく・る」が始まって早1年。私たち組合員は、よやく・るしておけばうっかり注文書を出し忘れても「何も届かない」なんてことがなくて安心、そして生産者にとっては、よやく・るされていると計画的に生産できて安心。そんなwin・winのよやく・るが15週配達分からパワーアップしました。

## 何を「よやく・る」してた？

「来週どれが届くのだったけ？」「何をよやく・るしてた？」と思ったことはありませんか。今まではセンターに問い合わせをしたり、自分でメモを取るなどの作業が必要でしたが、4月からは、納品書に印刷されたQRコードを読み込むだけで確認ができるようになりました。



の1%に満たず、生産農家が年々減少していて非常に貴重です。生芋からていねいに3日かけて製造されるこのこんにやく、よやく・るすれば地元生産者を支える人になれます。これぞローカルSDGs！（ローカルSDGsの説明は、表紙・P2を読んでね）



## 「よやく・る」でローカルSDGs

私たち都市生活の地元にある(有)大矢商店(神戸市北区)の「生芋板こんにやく」「生芋糸こんにやく」がよやく・るに仲間入りしました。在来種のこんにやく芋の生産量は、こんにやく芋全体

## 部位バランスも考えたい

1羽の鶏からモモ肉は2本しか取れませんし、ムネ肉だけの鶏もいません。バラ肉ばかりの豚もいません。いろんな部位を食べ、1羽、1頭を丸ごと食べきるために、鶏手羽や豚ロースもよやく・るに仲間入りしました。旨みたっぷりのこれらの部位、お得な価格設定のよやく・るで利用していきましょう。



本部センター  
中道 省三

生活クラブ生協の職員が、日ごろの業務、身のまわりのできごとを通して見たもの、聞いたことをお伝えします。

### みんなが主役の生活協同組合

毎日外に出て配達をしていると、たま～に見知らぬ方から声を掛けられる事があります。例えばエレベーターの中で「〇〇号室の〇〇だけど…」、時には走りながら息を切らせて「コープさ～ん、注文用紙～！」…など。殆どは某生協さんと勘違いして話しかけてこられます。こちらも慣れたもので、「すみません、生活クラブと言いまして…」とお話すると、納得して帰られます。生活クラブを知ってもらえるいい機会になっていけばいいのですが。ちなみにコープの語源は英語で協同組合を意味する「cooperative」で、我が都市生活もその意味では少し違和感がありますが、れっきとした「コープさん」でもあります。よく生産者と組合員との顔の見える関係と言いますが、組合員と配達職員との顔の見える(知っている)関係が濃いのも都市生活の強みかな？と思っています。この職員こぼれ話を読んで下さっている組合員の皆様は、他生協の兄ちゃんに間違っって声掛けたり…ってないですよ！?



2023年2月号より



「生産者カード」の提出を！

生産者カードは気になりつつも、提出をしたことがありませんでした。提出することの意味を知ることができて、大変参考になりました。今度から記入、提出したいと思います。生産者さんにもメッセージを直接伝えることができるのは、素敵なことだと思いました。(北神戸 kata)



2023年度が始まりました。気持ちも新たにそれぞれの春が始まりました。機関紙都市生活も表紙テーマを新しくして、生活クラブ生協のアクティブな活動を伝えていきます。(T)